



## 中部大学春日丘高校 SGHグローバル課題研究 平成30年度 インドネシア研修の実施

### ● インドネシア研修の概略

「SGH グローバル課題研究」のフィールドワークの一環として、国際コース・啓明コース2年生の8人がインドネシア研修に参加しました。インドネシア研修は今回で3回目となりましたが、今年も昨年同様に「国際機関」、「企業」、「地域コミュニティ」、「現地高校」等を訪問し、多くの人々と交流しました。生徒たちは多方面から大きな刺激を受けるとともに、視野の広がる実り多き研修となりました。

#### ◆ 研修日時

平成30年8月6日(月)～11日(土) (5泊6日)

#### ◆ 訪問地域

ジャカルタ、南タンゲラン

#### ◆ 研修目的

- ・それぞれの研究テーマについて調査し、研究を行う資料を集め、課題探究学習を深める。
- ・現地の社会人や高校生と交流し、異文化理解・多文化共生の感覚を身に付ける。

#### ◆ 研修参加者： 第2学年 8名

氏名	研究テーマ
大橋 葵	日本の「かわいい文化」を世界へ
片桐 衣理	貧困問題
加藤 由乃	エコバックの普及でゴミ問題を改善
藤岡 佑奈	水問題
熊田 羽倭	言語教育の比較考察
伊藤 真緒	日本の人口問題と外国人の役割
加藤 寛朗	経済発展と教育の格差
河村 壮真	水素燃料自動車普及の可能性



日本・インドネシア国交60周年の記念ロゴ

#### 研究テーマについて

グローバル課題研究では、4領域(国際開発, 国際ビジネス, 環境・エネルギー, 医療・福祉)に分かれ研究を進めています。インドネシア研修に際しても研究領域の中でテーマを持ち、フィールドワークを行います。



#### ◆ 事前学習 (全7回)

インドネシア研修に行く前に、事前学習を行いました。何のために研修を行うのか、どのようなことを体験したいのかを考え、訪問先について事前に調べ、質問を考えました。よりよい研修にするためには、事前の学びが重要です。また、現地で行うプレゼンテーションや、現地校の生徒との文化交流会の準備も行いました。

#### ◆ 研修説明会の開催

6月16日(土)に、参加生徒と保護者を対象に研修説明会を開催しました。途上国での研修のため、治安や病気の心配をしている人もいましたが、研修を安全に行うために、危機管理・連絡体制をしっかりと行っていくことを説明しました。まずは元気に帰ってくることが一番です。ルールを守りながら、楽しく実りある研修になるよう、注意点を確認しました。

## 研修行程

月日	行程
8月6日 (月)	中部国際空港 出発 ～香港経由～ ジャカルタスカルノハッタ空港 到着
8月7日 (火)	じゃかるた新聞、在インドネシア日本大使館、 清水建設(地下鉄工事見学)を訪問
8月8日 (水)	JICAプロジェクトサイト、地域コミュニティー (南ジャカルタ)を訪問
8月9日 (木)	The 2nd Japan-Indonesia SDGs Meeting 参加 ＊プレゼンテーション発表
8月10日 (金)	南タンゲラン国立第2高校訪問 (授業、文化交流会)
8月11日 (土)	ジャカルタスカルノハッタ空港 出発 ～香港経由～ 中部国際空港 到着



地域コミュニティーの「ゴミバンク」にて



The 2nd Japan-Indonesia SDGs Meeting にて

### <主な訪問先>

#### \*じゃかるた新聞

インドネシアに住む日本人向けに新聞を発行している新聞社です。  
研究テーマに関する情報を集めました。

#### \*在インドネシア日本大使館

日本とインドネシアのつながりや、日本の国際協力についてご説明いただき、学びを深めることができました。

#### \*清水建設

ジャカルタ地下鉄第一号の工事を請け負っている会社です。地下鉄の工事現場を見学させていただきました。来年3月に完成予定で、「世界一のジャカルタの交通渋滞の改善」が期待されています。

#### \*JICAプロジェクトサイト、地域コミュニティー

JICAが環境プロジェクトを行っている村を訪問し、現地の人々の生活に触れ、声を聞くことで、国際協力の成果や今後の課題を考えることができました。「JICAが支援した公衆トイレ」、「ゴミバンク」、「幼稚園」、「小学校」などを訪問しました。

#### \*第2回 日本-インドネシア SDGs ミーティング

中央ジャカルタの環境林業省で行われた「第2回 日本-インドネシア 高校生 SDGs ミーティング」に参加し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」を基に、「持続可能な世界の構築にわたしたち高校生ができること」をテーマに、日本とインドネシアの高校生が英語で発表しました。日本からの参加校は、文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定されている筑波大学付属坂戸高校(埼玉県)と本校の2校。インドネシアからは、ボゴール農科大付属コルニタ高校、国立プカン第1高校など6校が参加しました。生徒たちは、100名を超える聴衆を前に、日頃の学習の成果を、英語で立派に発表してきました。

#### \*南タンゲラン国立第2高校

英語の授業や「パティック染め」の文化体験、また150名近くの生徒と共に、お互いの学校紹介や文化交流をしました。生徒たちは、訪問先の生徒たちの情の厚い、温かい国民性に触れ、別れの時は涙が止まらず、なかなか別れられない光景が見られました。今回の訪問により両校それぞれ2回ずつの学校訪問となり、両校の交流関係が一層深まりました。



在インドネシア 日本大使館にて



南タンゲラン国立第2高校にて